

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
西大寺歴史と都の原風景創生地区

平成22年3月

岡山県岡山市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者交通量	人/12h	170	204	208	確定 見込み		あり なし	297	H22年2月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路美装化、案内サイン・案内板整備などが、歩行者交通量の増加につながった。
指標2	人口	人	10,975	11,000	10,700	確定 見込み	x	あり なし	10,813	H21年5月	x	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	人口は減少したが、世帯数は伸びており、地区内への定住世帯数は増えている。
指標3	ダルマガエル岡山種族生息数	匹	6	150	52	確定 見込み		あり なし	26	H22年3月		21年度ダルマガエル生息数調査結果が確定したため 改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	個体数は増加したが、生息可能区域減などの影響により開発以前の個体数までは回復しなかった。
指標4	景観満足度	%	31	38	51	確定 見込み		あり なし	72	H22年3月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	景観整備や公園整備や都市緑化フェアの開催により地区の景観は向上している。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	観音院周辺観光ボランティア利用者数	人	597	/	1,616	確定 見込み	/	/	1,533	H21年4月	/	20年度利用者数が確定したため 改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	利用者は若干減少しているがH16年からH20年まで3倍近く増えている。またH21年の緑化フェア開催時には通常よりも活動日を増やして実施していた。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	西大寺観音院周辺地区の観光客の賑わい	・周遊ルートマップの作成 ・観光案内ボランティアの活動 ・地域のお祭り(西大寺会陽)の開始時間変更	・都市緑化おかやまフェア開催期間中、周遊ルートマップの配布し、観音院周辺観光案内ボランティアも通常より日数を増やして活動した。 ・西大寺会陽の開始時間を早めることにより、観客が増え、にぎわい創出につながった。	・引き続き、商工会や住民が主体的に活動し、行政はそのサポートを行う
	地域の歴史的景観資源の保存・活用	・協定区域内の建築物の新築や増改築について、景観保全を対象した助成制度を市単独事業で継続している。 ・街なみ協定の周知活動 ・観光案内ボランティアの活動	・助成についてはH21年度においては3件実施。 ・街なみ協定について、庁舎内にて周知するパンフレットを設置している。 ・観光客に対して、街なみ保存事業の取り組みもあわせて紹介・PRしている。	・地域住民による景観保全の継続と、地域の景観資源を官民協力して活用していく必要がある。
改善策	東部新拠点として都市緑化フェア開催後跡地の利用方法	・事業プロポーザルによる都市緑化フェア会場跡地の活用	・事業プロポーザルを実施し、H22年3月に事業者と基本協定を結ぶ予定。平成23年度中に開業予定。	
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地区人口減少	・事業プロポーザルによる都市緑化フェア会場跡地の活用	・事業プロポーザルを実施し、H22年3月に事業者と基本協定を結ぶ予定。平成23年度中に開業予定。	・古い街なみを残す景観整備実施地区とまちの新たな拠点となる東部新拠点とが連携をして、本地区の魅力を高めていく必要がある。
	ダルマガエル保護活動	・ダルマガエル保護区での保護活動	・従前値と比較して保護区内のダルマガエルの個体数は増加している。	・今後も引き続き専門家の意見を取り入れ、保護区内で保護活動を実施していく。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項